

コロナ禍における学校薬剤師と学校の関わりについてのアンケート

本調査は、コロナ禍において、学校薬剤師が学校に対してできたこと・できなかったことを振り返ることによって学校薬剤師が学校に対して果たした役割を明らかにすること、および、参考とした情報源を解析することで今後の情報伝達の課題を検討することを目的として、埼玉県薬剤師会学校薬剤師委員会が実施します。

このアンケートは匿名（無記名）でおこない、結果は個人が特定できない形で集計し、研修会等で情報共有させていただき、学会等で発表する予定です。過去の学校薬剤師活動に対するアンケート調査ですので、回答に際しての精神的・肉体的負担はありません。

以上の説明をご確認いただき、このアンケートに参加いただけるか否かをご回答ください。回答を始めた後は同意の撤回をすることはできません。

参加することに同意します → 以下の質問にご回答ください。

参加することに同意しません → ご回答ありがとうございました。

注1：1 学校につき 1 度この回答用紙または Google フォームのどちらか一方でご回答ください。複数校を担当の方は担当している学校それぞれについての回答をお願いします。

注2：本アンケートにおけるコロナ禍は 2020 年度から 2022 年度の 3 年間とします。学校薬剤師がこの間に変更となっている場合は、協議の上 1 学校につき 1 名の回答をお願いします。

google form での回答は
こちら



<https://forms.gle/yocWSZqzsTaQCtXE6>

（学校について）

問1. 担当する学校の種類を回答してください。

認定こども園 幼稚園 小学校 中学校 高等学校

定時制高等学校 特別支援学校 その他

問2. 担当する学校の設置区分を回答してください。

国立 公立 私立

（学校薬剤師について）

途中交代がない場合または交代した前任者が回答する場合は 2020 年 4 月 1 日を基準として回答してください。後任者が回答の場合は担当を始めた年度の 4 月 1 日を基準として回答してください。

問3. 年齢を回答してください

- 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代
- 70歳代 80歳代以上

問4. 学校薬剤師経験年数を満～年で回答してください。

- 初年度 1～5年 6～10年 11～15年
- 16～20年 21年以上

問5. その学校の担当年数を満～年で回答してください。

- 初年度 1～5年 6～10年 11～15年
- 16～20年 21年以上

問6. 本務職場を回答してください。

- 薬局 病院・診療所 検査機関 卸・メーカー 研究機関
- 無職 その他（回答できる範囲で具体的に _____）

（学校との関わりについて）

問7. コロナ禍において学校から環境衛生上の相談を受けたことはありますか？

- ある →問7-1へ ない →問8へ

問7-1. 相談を受けた事柄（複数回答可）

- 消毒薬の種類や性質 消毒薬の品質管理 消毒方法 換気方法
- 換気機器 その他（具体的に _____）

問 8. コロナ禍において自ら学校に対して情報提供をおこなったことはありますか？

- ある →問 8-1 へ ない →問 9 へ

問 8-1. 情報提供をおこなった事柄（複数回答可）

- 消毒薬の種類や性質 消毒薬の品質管理 消毒方法 換気方法
- 換気機器 その他（具体的に _____）

問 9. 学校において以下の物品が購入されましたか？ また、購入にあたり相談を受けましたか？
（当てはまる場合にチェックしてください）

	購入	相談があった
アルコール消毒薬	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
次亜塩素酸ナトリウム消毒液	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
次亜塩素酸水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サーキュレーター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CO ₂ モニター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※その他購入にあたり相談のあった物品があれば回答してください

（ _____ ）

（参考とした情報について）

問 10. 学校からの相談への回答や情報提供において参考にした情報を回答してください。（複数回答可）

- 厚生労働省からの情報 文部科学省からの情報 その他国の機関からの情報
- 埼玉県からの情報 日本薬剤師会からの情報 埼玉県薬剤師会からの情報
- 民間企業からの情報 その他（具体的に _____）

問 11. 問 10 の情報をどのような媒体から入手したか回答してください。(複数回答可)

- 成書 論文 パンフレット等印刷物 薬剤師会からの FAX
- Web サイト SNS 他の学校薬剤師からの口コミ
- その他 (具体的に _____)

問 12. 以下の情報についてどの程度確認したか回答してください。

(1) 文部科学省 「学校の新しい生活様式」 Ver. 1～8

- 全て確認した 一部確認した 確認していない

(2) 日本薬剤師会 「新型コロナウイルス感染症への対応について (学校薬剤師編)」 その 1～37

- 全て確認した 一部確認した 確認していない

(3) 日本薬剤師会 YouTube 動画「新しい生活様式における学校の衛生管理」(消毒編・換気編)

- 全て確認した 一部確認した 確認していない

(薬物乱用防止教室について)

問 13. コロナ禍において薬物乱用防止教室、くすり教育等の講演をおこないましたか？

- おこなった →問 13-1 へ おこなわなかった →終了です。ありがとうございました。

問 13-1. 薬物乱用防止教室はどのような形式でおこないましたか？

(複数回おこなった場合は全てをあわせて当てはまるものに回答してください。)

- 対面形式 オンライン (配信) 形式 両方

(この調査についての問い合わせ先)
埼玉県薬剤師会 業務第 1 課 白田 峻也
TEL: 048-827-0060
FAX: 048-827-0063
Mail: shirata@saiyaku.or.jp

ご回答ありがとうございました。
埼玉県薬剤師会学校薬剤師委員会
調査責任者：副委員長 山見 徹